

2025年  
2月号  
✳

# 原水協通信 (大阪版)

国連 NGO 原水爆禁止日本協議会  
毎月1回6日発行  
〒113-8464 文京区湯島2-4-4  
(大阪原水協)〒542-0012  
大阪市中央区谷町 7-3-4  
新谷町第3ビル 210号  
電話 06(6765)2552  
FAX 06(6765)2837



## 被爆者の声を聞き 日本政府は核兵器禁止条約に参加を

日本は核兵器廃絶の先頭に立つべきです。オブザーバー参加は最低条件です!!!

石破茂首相は、施政方針演説で日本被団協のノーベル平和賞受賞も、1月22日に発効4周年を迎えた核兵器禁止条約にも一言も触れず、日米軍事同盟(『核の傘』)をいっそう強化すること、過去最高の8兆7000億円を超える軍事費(防衛費)予算の推進を表明しました。ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザ攻撃を見ても、「軍事」対「軍事」、「核」対「核」の対応では、最悪の場合には核戦争へのエスカレーションを招くだけで、平和と安全は実現しません。国会で、被爆者の証言、核兵器廃絶の思いを聞く機会をつくるなど、核兵器禁止条約への参加、核兵器禁止・廃絶へ真剣な議論を交わし、その先頭に立つべきです。核兵器禁止条約第3回締約国会議への、日本政府のオブザーバー参加は、当然です。石破政権は、日米軍事同盟の強化、米国の「核の傘」への依存をきっぱりやめ、核兵器禁止条約に参加し、被爆国としての役割を果たすべきです。核兵器禁止条約に参加する日本の実現へ、あらゆる行動を通して、私たちの声を大きく広げましょう。

## 核兵器禁止条約署名 ハガキ付き署名リーフレットが新しくなりました



ノーベル平和賞受賞した日本被団協代表委員の田中照巳さんのメッセージ  
「核兵器の保有と使用を前提とする核抑止論ではなく、核兵器は一発たりとも持つてはいけないというのが、原爆被害者の心からの願いです。世界中の皆さん「核兵器禁止条約」のさらなる普遍化と核兵器廃絶の国際条約の策定をめざし、核兵器の非人道性を感性で受け止めることのできるような原爆体験者の証言の場を各国で開いてください。人類が核兵器で自滅することのないように!! 核兵器も戦争もない世界の人間社会を求めて共に頑張りましょう!!(ノーベル平和賞授賞式でのスピーチから)」を掲載。そして、日本被団協事務局次長の児玉三智子さん、漫画家のちばてつやさんが賛同をよびかけています。核兵器禁止条約は世界の流れであり、「核抑止力」強化は核戦争の危機を増やすだけであること、そして、被爆国としての役割など掲載しました。  
被爆80年、署名を草の根からいっそうひろげ、いまこそ核兵器のない世界の実現へ行動しましょう!!  
必要な団体・個人の方は、大阪原水協迄申し込んで下さい。

日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書決議

**697自治体**

(2025年1月23日)

☆ 核兵器禁止条約の署名・批准を求める 署名の到達

2025年1月22日の到達 133,744筆

大阪原水協は、毎月22日を集約日としています。

各団体・地域原水協・個人より報告をお願いします。

# ノーベル平和賞を大きな喜びと力に、被爆 80 年、2025 年 を核兵器のない世界、非核平和の日本への転換の年に！！



被災71年2025年3・1ビキニデーは、「核のタブー」を世界に築き上げてきた日本被団協のノーベル平和賞受賞を祝い、現在、世界が直面している危機を打開し、被爆80年を核兵器のない世界と非核平和の日本を実現する決意と行動に踏み出す場です。

同時に、核兵器禁止条約が発効し核実験被災者への救援や環境汚染の回復が国際法上の問題となつているもとで、70年以上にわたつてビキニ水爆などの被害を隠蔽し、健康調査も謝罪も補償もせず放置し続けている日米両政府の責任を明らかにし、すべての被害者の救済を求め、世界の核実験 被害者との連帯を築きます。

3・1ビキニデーを被爆国の日本政府が、核兵器禁止条約に参加し核兵器の廃絶へ世界をリードする役割を果たすよう、行動の出発点にしようではありませんか！

パンフレットの積極的な普及をお願いします。一部220円です。積極的な地域・職場での学習パンフ・ポスター・チラシの活用、普及をお願いします。

## 草の根の運動をつなぎ、核兵器のない世界を

2025年1月22日は、核兵器禁止条約発効から4周年です。府内各地域でも宣伝行動が取り組まれ、大阪原水協は19日にアベノキューズモール前で宣伝・署名アピール行動を行いました。

2024年12月10日、ノルウエーのノーベル委員会は、被爆者が核兵器のない世界の実現に努力し、みずからの体験を語ることによって核兵器使用の手を縛る「核のタブー」に貢献したとして日本被団協にノーベル平和賞を授与しました。

この受賞で、「核兵器と人類は共存出来ない」「核兵器なくせ」の被爆者の声が世界中に響きわたりました。

2024年12月時点で、核兵器禁止条約に批准した国は73、署名国は94に達しています。この世界の流れを推し進めているのは一つひとつの国の市民の「草の根」からの行動と主権者としての選択です。

今年は広島、長崎の被爆から80年節目です。被爆者とともに、核兵器のない世界、非核平和の日本を実現するための行動を大いに広げていきましょう。

## ビキニ水爆被災71年

### 3・1ビキニデーに参加を

いまから71年前の1954年3月1日、アメリカは中部太平洋ビキニ環礁で水爆実験をおこないました。広島に落とされた原爆の1000倍という爆発により発生した「死の灰」は、日本の多くのマグロ漁船の乗組員やマーシャル諸島の島民たちに深刻な放射線被害を生み出しました。被ばくした漁船員たちは救済されず、放置されたままです。広島、長崎につづく三度目の核兵器による被害は、日本国民のなかに不安と怒りを引き起こし、「水爆実験即時中止」「原水爆禁止」などを求める署名は、当時の日本の有権者の過半数を超え、広島での第1回原水爆禁止世界大会の開催につながりました。

3月1日は、人類と核兵器とのたたかひの「出発の日」です。静岡でおこなわれる3・1ビキニデーにぜひご参加ください。大阪原水協からの宿泊・新幹線の申し込みは終了しています。各自で、確保して下さい。

## 【お知らせ】

① 大阪原水協第一回団体・地域代表者会議を開催します。

日時：2025年 2月21日(金) 18:30~20:00

場所：大阪府社会福祉会館503号室 欠席される場合は大阪原水協迄ご連絡下さい。